

嘉麻市社協だより

えがま

No.113

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>

発行日/2015.7.1



みんなの願いが
叶いますように



ハンセン病差別から私たちが問われていることは

～法人設立10周年記念事業 支えあいのまちづくりサポーター養成講座～

5月27日(水)、夢サイトかほで、第2回目の支えあいのまちづくりサポーター養成講座を開催しました。「ハンセン病く人生(いのち)を奪われた人たちからの問いかけ」というテーマで、NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」事務局長の高石伸人さんからお話いただき、25名の方が参加されました。ハンセン病のとてもひどい差別を生き抜いてこられた方がいることを学び、私たちはこれから何を考えていかなければならないのかを問われる内容でした。

○ハンセン病という病気について

ハンセン病は、健康な人ならうつらないと言いきってよいほど、とても弱いライ菌という病原性細菌によっておこる病気です。症状としては抹消神経が侵されるため、手、足、顔面等へ広がることもあり、結果として多くの身体障がいを残してしまい、怖い病気と感じた人が少なくありませんでした。



○ハンセン病差別とは何であったか

療養所へ強制入所し、終生隔離をされ、未来、関係、家族、ふるさとが一瞬にして奪われました。『らい予防法』には、入所規定があるのに退所規定はなかったのです。自分が療養所にいることが分かったら、家族まで差別されてしまい迷惑がかかる、偽名で過ごし、住所も明らかにされませんでした。また、入所者は子どもをつくることが許されず、結婚は、不妊手術を前提とされました。他にも、療養所から逃げ出そうとする人、

『監禁室』に入れられ、暗闇の中の生活を強いられました。このような差別が、全て「らい予防法」という法律のもとで、行われていました。

○ハンセン病問題は終わっていない

平成8年に「らい予防法の廃止に関する法律」が制定されましたが、それで差別が終わったわけではありませんでした。平成15年には、熊本県の里帰り事業で温泉宿泊拒否事件が起こりました。今でも元患者のみなさんは、まわりの偏見に対して不安な気持ちを抱えて生活しています。



現在、全国に13の療養所があり、入所者の高齢化が進み、約1、700人にまで減ってきています。この地獄のような差別を生き抜いてこられた方々から、私たちは何を学ばなければならぬか、考えさせられます。決して忘れることがないように、伝えていかなければなりません。

第5回 支えあいのまちづくりサポーター養成講座のご案内

日時

8月3日(月)

8時30分集合 17時解散

内容

フィールドワーク

国立療養所菊池恵楓園(熊本県合志市)に行き、施設見学。その後入所者の方にお話を伺います。

参加費

1,000円(バス代)

参加対象

第2回講座受講者及び

ハンセン病について事前学習をされた方

その他

厚食は自己負担となります。

《お問い合わせ・お申込み先》

嘉麻市社会福祉協議会

☎0948(42)0751

2015年 5月14日(木)

今日は中益サロンにおじゃましました。2回目である今日のサロンは、「地域の歴史を学ぼう」というテーマで、みなさんと勉強されました。

「お籠もりには参加してるけど、どんな意味があるのか詳しく知らなかった」「お宮掃除をしているけど、歴史を知らなかった」といった感想を話されていて、みなさんは、自分たちの地域を知ろうととても積極的でした(^^)

「次の世代に伝えて、引き継いでいきたい」と話されている方もいて、みなさんも頷かれていました。私もみなさんと学んでいきたいと感じました。



2015年 6月6日(土)

今日は、8月3日に開催するフィールドワークの事前打ち合わせのため、NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」事務局長の高石伸人さんに案内していただき、熊本県合志市の国立療養所菊池恵楓園に行ってきました。

初めて療養所に入ったのですが、まず広さに驚きました。「一つの国」だという言葉聞いて、「療養所」という世界での生活を強いられ、外に出ることも許されなかった現実を改めて考えさせられました。勉強会等で、高石さんに写真を見せてもらったことはありましたが、実際のコンクリート壁も見ました。当時、入所者の方が逃げ出すのを防ぐために作られたこの壁は2mあったのですが、堀を埋めたために、当時ほどの高さはないそうです。ただ、目の前にしてみると、外が全く見えないうちにも厚い壁で、閉ざされていたということを知らされました。



2015年 5月26日(火)

今日は、障がい者支援施設清浄学園の職員さんがたくさんのアルミ缶を持って来所されました。先日、社会福祉法人の地域貢献活動のことでおじゃましたときに、本会がアルミ缶を回収していることを伝えると、施設周辺の空き缶拾いをする時に協力しましょうと言われ、すぐに実行していただきました。このアルミ缶は、後日換金し、チャイルドシートを購入します。そして、子育て中の方へ貸し出します。貸し出しを希望される方は多く、このアルミ缶回収事業は貴重な財源となっております。ご協力、本当にありがとうございました。

今年度は、地域貢献活動につきまして、社会福祉法人のみなさまといろいろなお話ができればいいと考えていますので、よろしく願います。

監禁室は、療養所の規則に違反した人が収容されたそうです。中に入ると、暗く、とても冷たい空気を感じました。生活をする所とはとても思えない場所で30日以内の謹慎等が科せられたそうです。

他にも、ふるさとへ帰ることを許されなかった方達が眠られている納骨堂、火葬場の跡など、いろいろな場所を見学させていただきました。

その後、所内で暮らす杉野さんご夫婦の部屋へおじゃまし、お話を伺いました。家族や親族との関係が全くない辛い思いや今も偏見が続いていることへの不安な気持ち等を話されました。「今までの経緯をきちんと知ってほしい」という言葉を聞いて、しっかり勉強しなければいけないと改めて感じました。



ります。必要となる



A 申請書類の不備がなく、家庭裁判所の調査等がスムーズに進めば、申し立てからおおよそ1〜2か月程度で後見等開始の審判が出ます。その審判書を成年後見人が受領してから2週間後に、審判が確定します。なお、家庭裁判所が、医師による鑑定が必要であると判断した場合は、より多くの時間が必要となります。

Q 家庭裁判所に後見等開始の申し立てをしてから、成年後見人等が就任するまでに、どのくらいの期間が必要ですか？



平成26年度 主な事業報告・収支決算報告

平成26年度事業報告及び収支決算報告については、5月19日の第49回理事会、26日の第36回評議員会でそれぞれ、承認・議決されました。

●地域の安全と環境保全につなげるために

- ・空き家管理住まいのサービス
管理家屋6軒

●地域のつながりを育むために

- ・地域の交流拠点寄ってこ
ハウスの運営
延べ利用者数 222人
- ・地域福祉部の設置・活動支援
地域福祉部 21ヵ所
福祉推進員 27人
- ・ふれあい・いきいきサロンの
設置・支援
ふれあい・いきいきサロン
33ヵ所



●子育てを支援するために

- ・子育て用品リユースセン
ターの運営
利用者数 735人
寄附物品数 7,400点
リユース品数 5,784点
- ・おしゃべりサロンの開催 3回 参加者数18人
- ・チャイルドシートの貸出 73件
- ・子育て情報紙の編集発行 発行回数 4回



●高齢者の方々を支援するために

- ・紙おむつ宅配事業の実施 利用者数 107人
販売パック数523袋
- ・福祉機器の貸し出し 車いす 53件
- ・在宅介護者の集い 定例会 11回
延べ参加者数 78人
- ・リフレッシュ事業 1回 参加者数 8人

●障がい児・者の方々を支援するために

- ・障がい児日中一時支援事業
嘉麻北障がい児日中一時支援
事業所
延べ利用回数 1,457回
嘉麻南障がい児日中一時支援
事業所
延べ利用回数 915回



●ひきこもり等の状態にある本人 及びその家族を支援するために

- ・家族の集い定例会の開催
回数11回 参加者数 36人
- ・フリースペースの開設
回数12回 参加者数 64人
ひきこもり支援等に関する勉強会の開催 2回
延べ参加者数 12名

法人運営部門

●組織基盤の強化

- ・会長・副会長会議の開催 7回
- ・理事会の開催 3回
- ・評議員会の開催 4回

●法令の順守及び事業経営の透明性の確保

- ・内部監査の実施 1回
- ・外部監査の実施 13回

●利用者等からの苦情解決と事業改善

- ・福祉サービスの利用に関する第三者委員会の開催 1回

地域福祉活動推進部門

●会員を増やしていくために

- ・会員数1,463件(個人会員1,325件 法人・団体会員31件)

●福祉情報を収集・発信するために

- ・広報紙えがおの発行 発行回数 12回
- ・ホームページによる情報の発信
アクセス件数 5,199件 更新回数496回
- ・ブログによる情報の発信 更新回数396回
- ・SNSを使った情報発信 236回

●いろいろな困りごとの相談に応じるために

- ・法律相談 相談件数 50件
- ・心配ごと相談 相談件数 30件
- ・一般相談 相談件数 342件

●みんなの権利を擁護できるように

- ・市民後見人養成講座の開催
28コマ34時間10分 受講修了者16人
- ・市民後見人養成フォローアップ講座の開催
講義4日間 現場実習 受講者11名
- ・地域福祉権利擁護事業の実施
金銭管理・生活支援サービス 相談件数15件
新規契約件数12件 利用者数27人
財産保管サービス 新規契約件数3件 利用者数4人
- ・日常生活自立支援事業の実施
相談件数1件 新規契約件数0件 利用者数10人
- ・法人後見の受任
受任者数4人(後見3人 保佐1人)
後見等活動回数73回 活動時間93時間10分
- ・民法入門学習会の開催

●低所得者等の自立を支援するために

- ・生活福祉資金貸付事業 相談 99件、貸付 23件

●地域での生活を支援するために

- ・地域支えあい事業 利用件数 110件
利用会員 178人 協力会員 54人

受託事業管理運営部門

●受託事業の推進

- ◇配食サービス事業 延べ利用者数1,546人
延べ配食数 31,374食 朝食延べ提供数 2,269食
- ◇高齢者生きがい活動支援通所事業
月平均利用者数68.5人 月平均延べ利用者数 231.6人
一日平均利用者数11.5人
- ◇生活管理指導員派遣事業
嘉麻北 月平均利用者数4.0人 嘉麻南 月平均利用者数4.3人

指定管理施設の管理・経営

●指定管理施設の管理・経営

- ◇山田ふれあいハウスの管理及び利用促進
開所日数 354日 延べ利用者数10,965人

平成26年度 資金収支計算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算額			
経常活動による収支	収入	会費収入	1,818,000		
		寄附金収入	3,816,518		
		補助事業等収入	6,646,326		
		経常経費補助金収入	39,373,000		
		助成金収入	726,730		
		受託金収入	25,060,006		
		事業収入	21,495,572		
		共同募金配分金収入	4,668,800		
		介護保険収入	75,531,516		
		自立支援費等収入	11,529,590		
		雑収入	1,646,564		
		受取利息配当金収入	155,686		
		経理区分間繰入金収入	55,235,986		
		経常活動収入計	247,704,294		
		支出	支	人件費支出	159,941,968
				事務費支出	7,597,259
事業費支出	40,510,615				
助成金支出	1,923,760				
負担金支出	552,000				
経理区分間繰入金支出	55,235,986				
経常活動収支計	265,761,588				
経常活動収支	-18,057,294				
施設整備等	支出	固定資産取得支出及び繰入支出	139,860		
		施設整備等支出計	139,860		
		施設整備収支	-139,860		
財務活動による収支	収入	その他の収入	2,440,970		
		財務活動収入計	2,440,970		
	支出	積立預金積立支出[積立預金支出]	77,968		
		その他の支出	3,753,890		
		財務活動支出計	3,831,858		
財務活動収支	-1,390,888				
予備費		0			
当期資金収支差額合計		-19,588,042			
前期末支払資金残高		135,183,249			
当期末支払資金残高		115,595,207			

●ボランティア活動や市民活動を広げていくために

- ・高校生災害ボランティアサポーター養成研修会の開催
参加者数42人
- ・災害ボランティアネットワーク構築に向けた連絡会の開催 1回
参加者数 9人
- ・被災地災害ボランティアセンターへの職員の派遣
活動先:広島市安佐南区
期間:平成26年9月8日(月)~9月14日(日)
- ・朗読ボランティア入門講座の開催 4回
延べ参加者数 19人



●共同募金運動に協力するために

- ・街頭募金、戸別募金、職域募金、法人募金への協力



●その他の事業活動

- ・初盆世帯供物配布事業 206件
- ・アルミ缶等リサイクル事業 総量 4,374kg
- ・バス待合所の管理 36ヵ所
- ・ポストカードの販売 15セット
- ・ホームレス自立支援事業
- ・支援物資の募集及び搬送 173点
- ・社会福祉法人の社会貢献に関する実態調査の実施
19施設

在宅福祉推進部門

●介護保険事業の推進

- ◇居宅介護支援事業の実施
月平均利用者数 85.1人
- ◇介護予防居宅介護支援事業の実施
月平均利用者数 21.7人
要介護認定調査業務の受託 3件
- ◇訪問介護事業の実施
嘉麻北 月平均利用者数27.0人
嘉麻南 月平均利用者数22.5人
- ◇介護予防訪問介護事業の実施
嘉麻北 月平均利用者数 23.9人
嘉麻南 月平均利用者数 51.0人
- ◇認知症対応型共同生活介護事業の実施
月平均利用者数4.7人

●障害者自立支援事業の推進

- ◇障がい者居宅介護事業
嘉麻北 月平均利用者数4.9人
嘉麻南 月平均利用者数9.4人
- ◇障がい者同行援護事業
嘉麻北 月平均利用者数2.8人
嘉麻南 月平均利用者数4.0人
- ◇障がい者移動支援事業
嘉麻北 月平均利用者数1.0人

紙面の構成上、事業報告については主な事業のみ、収支決算については大項目のみを掲載しています。
詳細についてはホームページをご覧ください。 <http://kama.syakyo.com>

かま ボランティア市民活動センター情報

夏休み ボランティア体験しませんか

ボランティア活動に関心はあってもなかなか始めるきっかけをつかめずにいる方、また一歩を踏み出す勇気を持っていない方もいらっしゃいます。

そこでかまボランティア・市民活動センターでは、夏休みを利用して、ボランティア活動を体験できるプログラムを準備しました。

学生の方に限らず、どなたでもぜひご参加ください。



特別養護老人ホーム ひまわり園

日時 8月22日(土) 17時～20時30分
内容 夏祭りの補助
募集人数 10名程度
募集締切 8月14日(金)
その他 食事は主催者で準備します。



軽費老人ホーム 稲穂会

日時 8月10日(月) 18時～21時
※雨天時 8月11日(火)に順延
内容 夏祭りの補助
募集人数 6名程度
募集締切 8月7日(金)



指定障がい福祉サービス事業所 山田学園

日時 8月1日(土)～8月31日(月)
9時～16時 ※お盆期間中は休み
内容 園内作業の補助
備考 上履きを準備してください。

障がい者支援施設 つばさ学園

日時 8月1日(土)～8月31日(月)
9時～16時
内容 障がいのある子どもたちの遊び相手
備考 時間が昼をまたぐ場合食事を準備します。

嘉麻市社会福祉協議会

日時 7月18日(土)～8月31日(月)
9時～17時の間で活動可能な
時間で構いません。
場所 嘉麻北日中一時支援事業所
(鴨生339 嘉穂特別支援学校横)
嘉麻南日中一時支援事業所
(上山田502-6 山田ふれあいハウス内)
内容 障がいのある子どもたちの遊び相手
宿題の補助など
備考 動きやすい服装でお願いします。
時間帯によってはお弁当、飲み物をご準備ください。

通所介護 うすいの里

日時 8月8日(土) 13時30分～15時
内容 夏祭りの補助
備考 動きやすい服装でお願いします。



今回掲載しているものは、活動の中の一部です。ほかにも、ふれあい・いきいきサロンでの交流などの活動もありますので、関心のある方はお気軽に下記までご連絡ください。

お問い合わせ先・お申し込み先：かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751



「新しい家族」の作り方



著者：芹沢 俊介
出版社：晶文社

著者の芹沢俊介さんは、冒頭で、「自己肯定感を持ってない子どもが増えていると指摘しています。」

なぜ、自分のことを肯定的にとらえることができないのか。著者は、周囲の大人が望むような「いい子」でないと見捨てられるかもしれない、仮面を外したときに自分になくなってしまつのではないかという不安を抱えながら、押し殺して、「うご子」を生きようとしてくるのはないかと問いかけています。

自分を肯定することができるとともに、「いま、ここに、安心して、安全に、安定的に、自分として、ある」という存在自体を大人が受け止めて、保証することが必要であり、その子どもの受け止め手を「母」と呼んでいます。

この「母」は「母親」のことではなく、性別に関係なく、子どもがあるがままを受け止める人のことを指しています。そして、家族における受け止め行為こそが育児であって、「母」の不在が現代の家族問題の根本にあると指摘すると共に、こうした意味の「母」をどう作るかがこれからの家族のテーマであると述べています。

家族とは何か、自分は家族の中「母」になることができているのかといったことを省みるとともに、社会の中での「母」のような環境や存在の必要性について、考えるきっかけを与えてくれた一冊です。
(たけがわ)

炭鉱の記憶

No. 100

上山田にある「常盤館」は、明治時代から続く旅館です。今回は、炭鉱と常盤館の歴史について、経営者である松岡清文さんにお話を伺いました。

明治初期、まだ上山田地区に炭鉱がなかった時代に、松岡さんの曾祖父の卯太郎さんは、日用品などを扱う小間物店を営んでいました。当時、石炭を採掘できるかどうかを調べる調査員が県外からよく来ていたそうので、「旅人の宿」という名称を付けて、泊めていたのが、旅館をはじめのきっかけだったそうです。

その後、三菱鉱業上山田炭鉱や日炭上山炭鉱をはじめ、いくつもの炭鉱が創業し、上山田の街は急速に発展しました。旅館の外壁のすぐ横を上山炭鉱の引き込み線が通り、ガタン、ゴトンと大きな音を立てながら、トロッコが往復していたそうので、「いつも朝からうるさかったことをよく覚えている」と松岡さんは懐かしそうに話してくれました。

昭和23年には、旅館の近くに、1,000人以上を収容できる「常盤座」という劇場を作りました。戦後間もない頃で食糧不足の中でも、「炭鉱の街は景気が良く、ご飯もたくさん食べることができると、有名な役者が次々と訪れていたそうです。特に人気の高い俳優の時には、少しでも良い場所で見ようと、1km以上の列ができていたと言います。」

また、夏の山笠の時には本町を中心に多くの露店がズバリと並び、各鉱区対抗の仮装行列も行われていたそうので、「戦後のもっとも石炭産業が盛んだったころの賑わいはいかにかくすごかった。道を横断することもできないくらいだった」と当時の活気あふれる様子を笑顔で語られています。



常盤館の前で踊る女性たち



いつも行列ができていた常盤座

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。
嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。
☎0948(42)0751

8月の総合相談

法律相談は予約が必要です。
先着順となっておりますので、
お早めにお申し込みください。

法律相談

と き:8月6日(木) 13:00~16:00
ところ:山田ふれあいハウス

と き:8月20日(木) 13:00~16:00
ところ:稲築住民センター

心配ごと相談

と き:8月12日(水) 13:00~15:00
と き:8月26日(水) 13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

法人運営 INFORMATION

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会、評議員会を開催しました。

記

第49回理事会 《開催日》平成27年5月19日(火)

【議案第146号】

平成26年度事業報告及び収支決算について
監査報告

第36回評議員会 《開催日》平成27年5月26日(火)

【議案第68号】

平成26年度事業報告及び収支決算について
監査報告

【議案第69号】

理事の補欠選任について



社協だよりクイズ

「読めば答えが見つかるかも」

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

第5回支えあいのまちづくりサポーター養成講座で行く国立八幡セン治療養所はどこでしょうか。

- (1) 大島青松園
- (2) 菊池恵楓園
- (3) 星塚敬愛園

●応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名 ⑤年齢、⑥電話番号を記入の上、7月31日(必着)までにハガキまたはEメールにて応募ください。

●送付先 〒8920-0205

嘉麻市岩崎1-43番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: riki@kama-syako.com

●前号のクイズの答え (1)

第1回まちづくりサポーター養成講座のテーマは、社会福祉法人の地域貢献活動でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・若い子達のボランティア活動に感動を覚えますね。

・様々な取り組みが素晴らしい。益々の発展を期待します。

・成年後見人制度Q&Aは参考になります。コミュニケーションワークセンターの活動についても詳しく知る事ができました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

善光会館 稲築会場

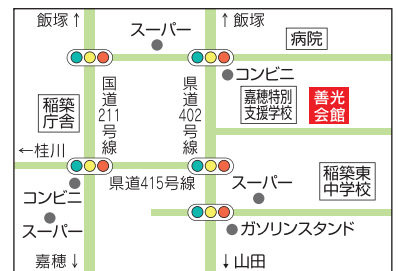
嘉麻市鴨生277-17 ☎(0948) 83-5000

皆さん、こんにちは。善光会館です。

最近、お葬儀についてお尋ねに見えるご家族のほとんどが「家族葬で考えています」と話されます。遺族を中心に親しい人だけの葬儀を一般に家族葬と呼んでいます。社会の急速な少子高齢化や核家族化、地縁の希薄化などが家族葬を選ばれる理由です。

ただし、家族葬と言っても従来からある葬儀と内容に大きな違いはありませんし、メリットもあればデメリットや注意点などもあります。そんな家族葬について皆さまも一緒に考えてみませんか? 日頃から不安に思うことや分からないことを、どうぞお気軽に善光会館までご相談ください。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、善光会館 稲築会場を含め、市内に8ヶ所あります。

おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420	いすや会館	☎57-4444
飛鳥会館 南斎場	☎42-4241	セレモニーホールおおつか	☎52-1212
きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499	かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566
ひさつね会館	☎52-0758		

ふるさとへの手紙 No.113



わらびし 埼玉県蕨市 在住
松岡 正雄さん
千手出身

望郷の念にかられて

昭和15年11月に千手村大産声を上げた私は、間もなく後期高齢者の仲間入りをする年齢に達します。千手小学校から千手中学校に進み、嘉穂工業高校機械科を卒業しました。残念なことには市町村合併の影響と県の高校再編計画により3校とも廃校になり、本当に寂しい思いをしています。昭和34年春に青雲の志を抱き、上京したにも拘らず、2回の転職を経験しました。会社員として27歳で大きな転職を迎えました。長期間の海外駐在の辞令を受け取り赴任しました。遠いエジプトのアレキサンドリアで製紙プラント事業の指導員を務めました。アラブと日本では全く環境が異なり、戸惑いの連続でしたが、貴重な経験がその後の人生に大いに役立つ事になりました。

子どもの頃は山や雑木林に入り鳥や鹿で野鳥を捕るのが好きでした。春先に杉の木に登り揺らして、花粉症の主原因をまき散らす悪戯をするなど正にガキ大将でした。川遊び、コマ廻し、パッチン、ビー玉、凧あげ等々、日が暮れるまで近所の仲間と遊びました。今一番懐かしく楽しみにしているのが旧千手小中学校の同級会です。ここ四年連続で帰省して参加しています。今年も3月10日に筑豊ハイツに男女各16人計32名が集まりました。校歌を合唱し、カラオケで盛り上がり楽しい一日でした。嘉穂工業高校の同窓会も地元とは別に関東支部を結成して毎年新宿で開催しています。招聘した校長先生や同窓会長の祝辞に耳を傾け、望郷の念を募らすこともありました。今は埼玉県南部に位置する蕨市に住んでいます。全国の中で最も面積が狭く人口密度は日本高いことで知られる住宅地です。町内会の役員や老人会の世話役等ボランティア活動にも傾注し、ソフトボールとグラウンドゴルフで体力を維持しています。男ばかり4人の孫の面倒を見ることも有り、結構忙しく楽しく過ごしています。最後になりましたが、嘉麻市と社会福祉協議会の益々のご発展とご在住の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

コラム 交差点

「コメントありがとう！」

M新聞の「はがき随筆」に投稿している。平成11年から16年経た。きっかけは、販売店主の娘さんと同じ職場になったこと。「お願いします」の一言で決めたのは、夫を亡くした後だったからか。「はがき随筆」に出会う縁だったのか。掲載も135回になった。文才のある友から、100回までを見せてくれと言った。彼女は、いろんな新聞に投稿し度々掲載される。私の比ではない。「下手だから、恥ずかしいから、整理してないから」と、何度もおことわりしたが「そんなことかまわない。いいから、いいから」と。ハガキホルダーにた

だ差し込んでいただけなのに。と、心にかかりながらも負けてしまった。彼女からすぐに電話。もう？と思うほど早々と読んでくれたのだ。開口一番「びっくりした」と言われる。「100回も掲載されてるから、カットや感想も添えてあるものだと思っていた。ファイルにはさんただけとは。」と、あきれた声。続けて「まあ、順番通りにはなっているけど。私が、カットをいれてきれいに仕直そうかねと、主人に言ったら余計なことはしない方がいいと言われた」と。とうとう吹き出した。「コメント、もうしたいと思っただけでそれで精一杯だよ。」私としては、この際、絵も上手

な彼女にすべてを、まかせられたらこの上ない喜びなのだが。やはり厚かましいかと胸にしまった。後日、郵便でファイルが届いた。今度は私が驚いた。便箋8枚。小さな文字でぎゅーりと、38の作品に「コメント」と感想が書き込まれている。短い間によくもまあ…。読まして頂きながら、誰がこんなにしてくれようかと感心し、只ただ有難かった。私にはとうてい真似なんかできな。最後に、「きちんと冊子にして他の方にも読んでもらうて下さいよ」と、結んであった。コメント本当にありがとう。(熊ヶ畑 広瀬 須代子)

編集後記



上山田女性学級におじゃまして、支えあいのまちづくりについての出前講座をしました。参加されたみなさんの真剣なまなざしに、思わず熱く語ってしまいました。少人数の集まりにも伺いますので、ぜひお声掛けください。(きはら)

国立療養所菊池恵楓園に実際に行き、自分で行って、見て聞いて継続して勉強していくことの大切さを感じました。入所者の方の貴重なお話は心に残り、何を伝えていかなければならないかを考えさせられました。(みぞくち)

今号で、炭鉱の記憶が100号を迎えました。これまでたくさんの方に話を聞かせていただきました。これから多くの方に出会い、当時の記憶や思いなどを、みなさんにお届けしていきたいなと思っています。(たけがわ)

6pで、夏休み期間中を利用して活動できるボランティア情報を掲載しています。学生の時にいろいろ貴重な体験をしてみたいか？興味のある方はお気軽に連絡ください。(あかま)

今回初めて広報の編集に関わり、ふるさとへの手紙を担当しました。手紙を送ってくださった方の同窓会はとても楽しそうな様子で、同窓生との深い絆があることがとてもうらやましいと思いました。(まる)